

岩手山の火山活動解説資料（平成 25 年 6 月）

仙 台 管 区 気 象 台
火山監視・情報センター

火山性地震は少ない状況となりました。
地殻変動の状況等にも特段の変化は認められず、噴火の兆候は認められません。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 1、3～6①）

柏台（黒倉山山頂の北約 8 km）に設置してある遠望カメラによる観測では、岩手山山頂、大地獄谷及び黒倉山山頂からの噴気は認められませんでした。

12 日に岩手県の協力により現地調査を実施した結果、岩手山山頂の噴気地熱域の高温域¹⁾及び地中温度等²⁾は、前回（2012 年 6 月 27 日）と比較して大きな変化は認められませんでした。

- 1) 赤外熱映像装置による。赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を検知して温度分布を測定する測器です。熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。
- 2) サーミスタ温度計による測定。サーミスタ温度計は、半導体の電気抵抗が温度変化する性質を利用して温度を測定する測器です。

・地震や微動の発生状況（図 6②～⑤）

9 日に松川付近を震源とする地震が、19 日には山頂直下で低周波地震がまとまって発生しましたが、火山性地震の月回数は 49 回（5 月：83 回）と、少ない状況になっています。今期間、空振計等に特段の変化は認められませんでした。

火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図 8）

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

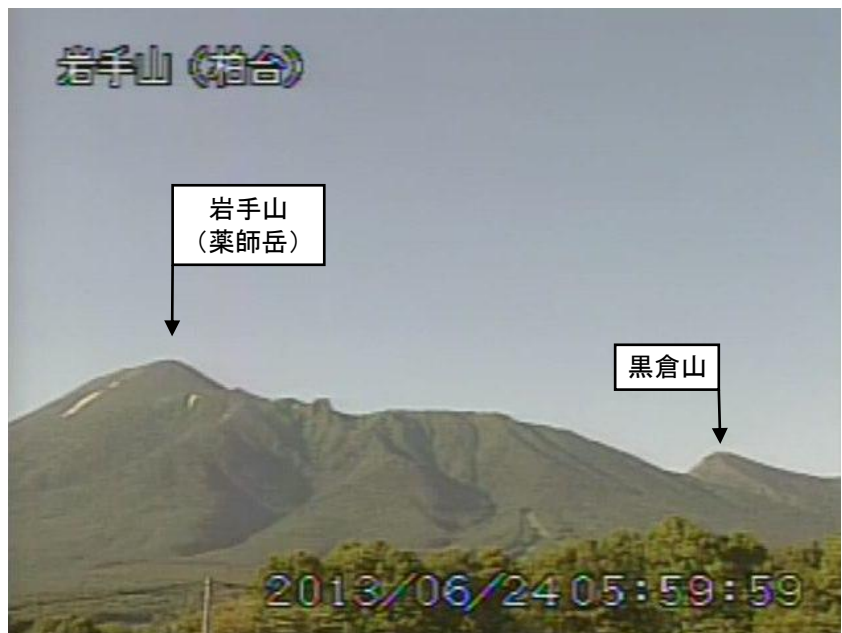


図 1 岩手山 東岩手火山と西岩手火山の状況（6 月 24 日 06 時 00 分頃）
柏台（黒倉山山頂の北約 8 km）に設置してある遠望カメラの映像です。

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 25 年 7 月分）は平成 25 年 8 月 8 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東北大学、独立行政法人防災科学技術研究所のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 23 情使、第 467 号）。

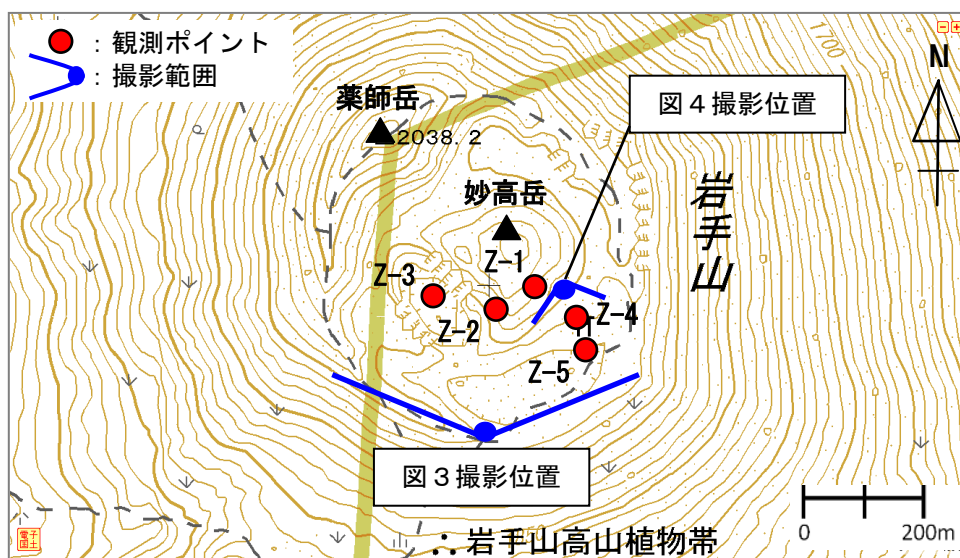


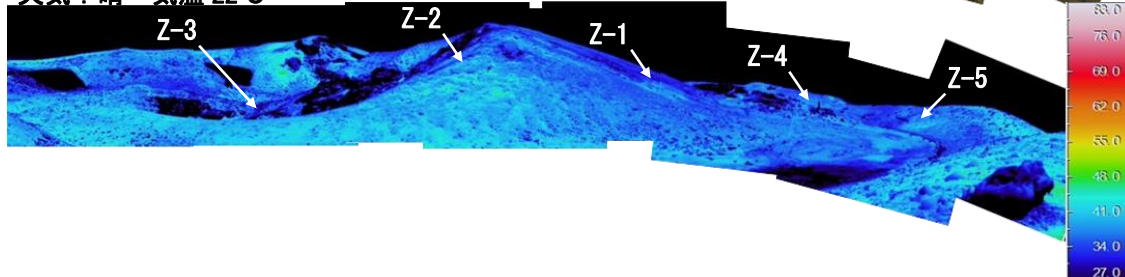
図2 岩手山 山頂の各観測点と可視画像及び地表面温度分布¹⁾ 撮影位置

①可視画像（2013年6月12日11時15分）



②赤外画像（2013年6月12日11時15分）

天気：晴 気温 22℃



③可視画像（2012年6月27日11時20分）



④赤外画像（2012年6月27日11時20分）

天気：晴 気温：17℃

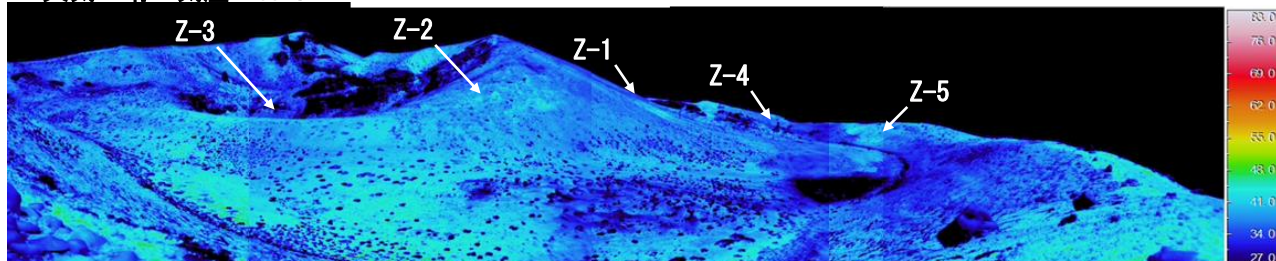


図3 岩手山 山頂付近の可視画像と地表面温度分布¹⁾

噴気地熱域の高温域及び地中温度等は、前回（2012年6月27日）と比較して大きな変化は認められませんでした。

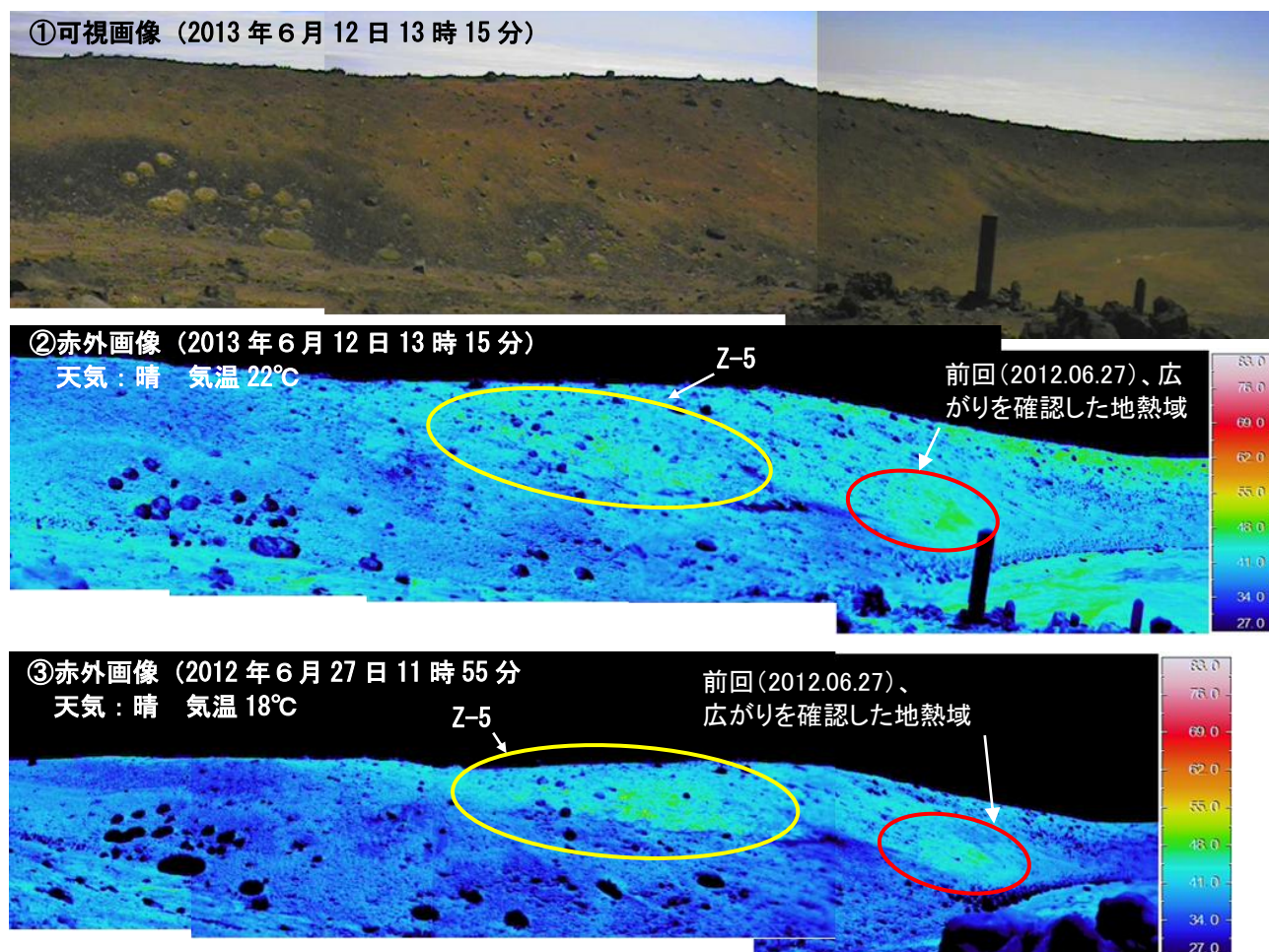


図 4 岩手山 外輪山内壁（Z-5）の可視画像と地表面温度分布¹⁾

赤色囲みの領域が、前回（2012 年 6 月 27 日）広がりを確認された地熱域で、大きな変化はみられませんでした。

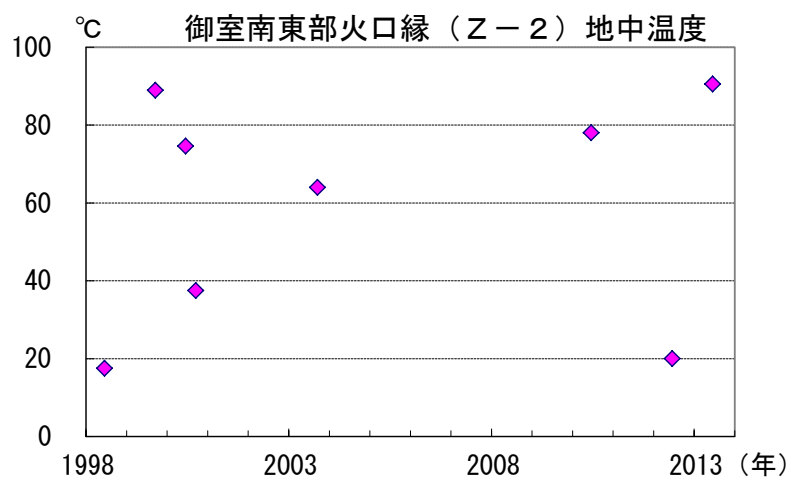


図 5 岩手山 Z-2 観測点の地中温度

熱活動は継続しています。前回（2012 年 6 月 27 日）は確認できませんでしたが、今回の調査では 90.5℃を観測しました。

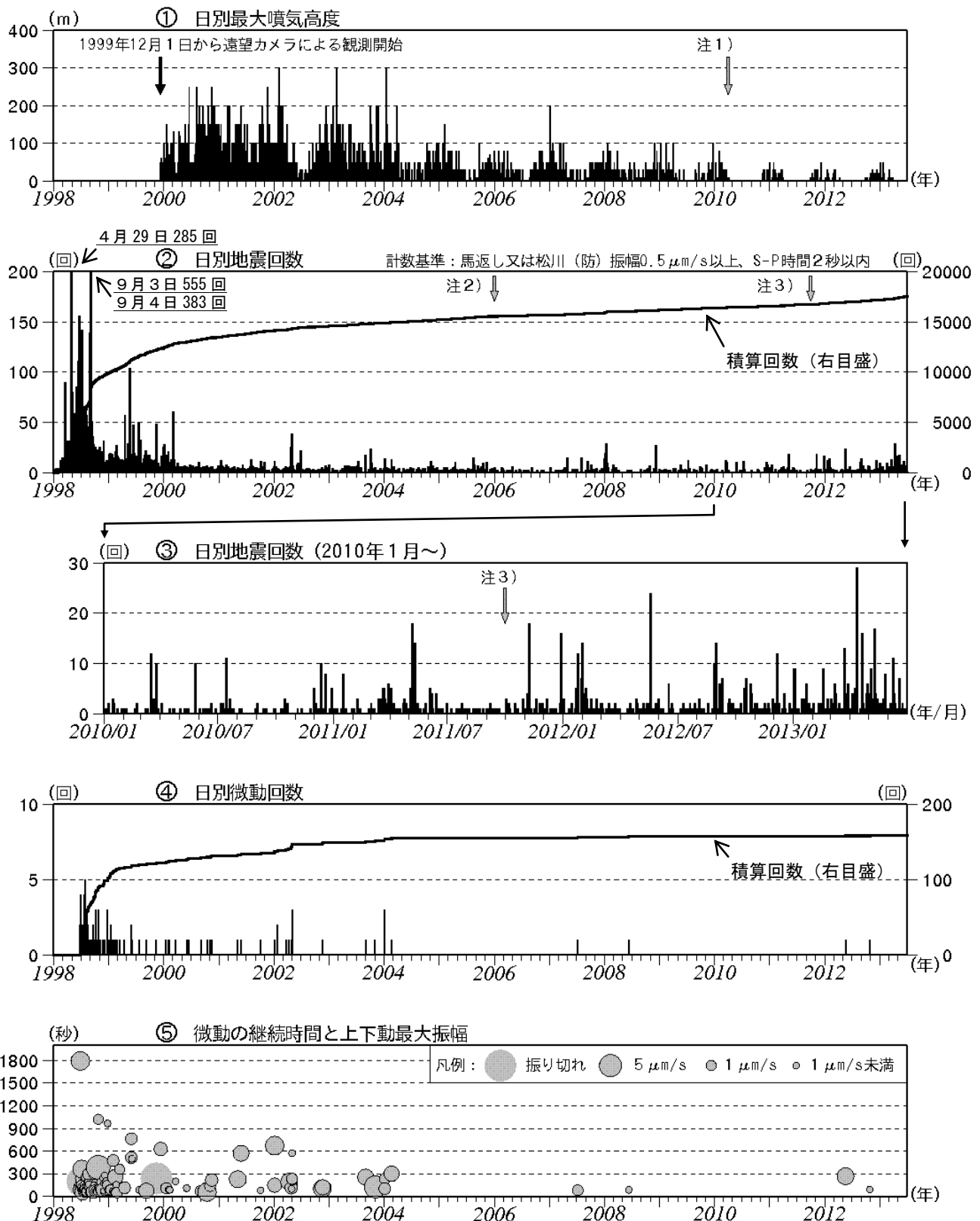


図6 岩手山 火山活動経過図(1998年1月～2013年6月)

- ・①注1) 2010年3月までは黒倉山のみの観測を、2010年4月1日以降は岩手山全体を観測しています。
- ・②～⑤基準観測点の変更は次のとおりです(角カッコ内は地震回数の計数基準)。
観測開始 1998年1月1日～ 東北大学松川観測点 [振幅 $1.0\mu\text{m/s}$ 以上、S-P時間2秒以内]
注2) 2006年1月1日～ 焼切沢観測点 [振幅 $0.5\mu\text{m/s}$ 以上、S-P時間2秒以内]
注3) 2011年10月1日～ 馬返し観測点、及び防災科学技術研究所松川観測点
[振幅 $0.5\mu\text{m/s}$ 以上、S-P時間2秒以内]
- ・②③2000年1月以降は滝ノ上付近の地震など山体以外の構造性地震を除外した回数です。
(1998年から1999年までは滝ノ上付近の地震など山体以外の構造性地震も含みます)

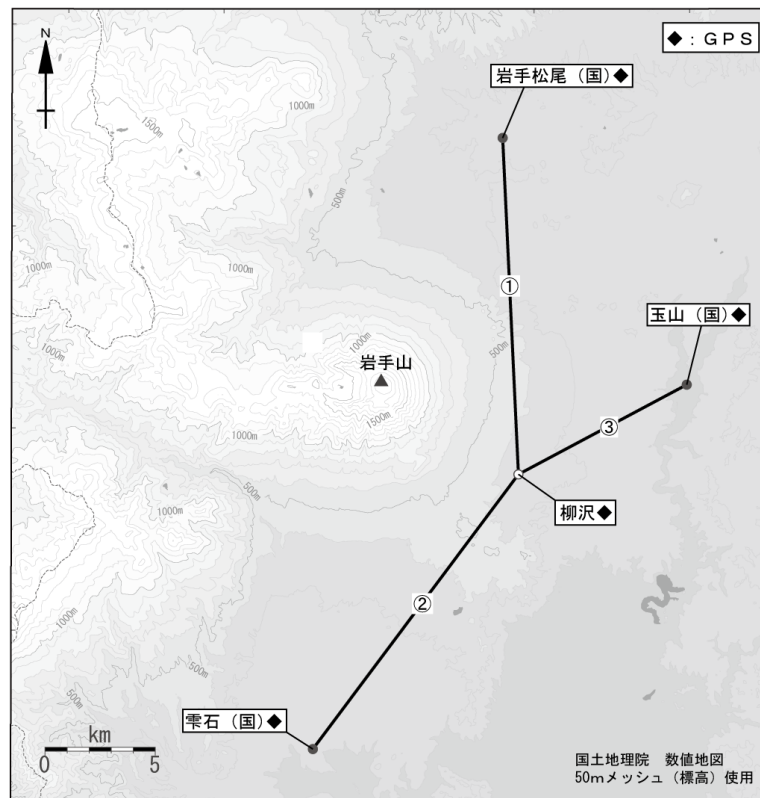


図7 岩手山 GPS 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
（国）：国土地理院

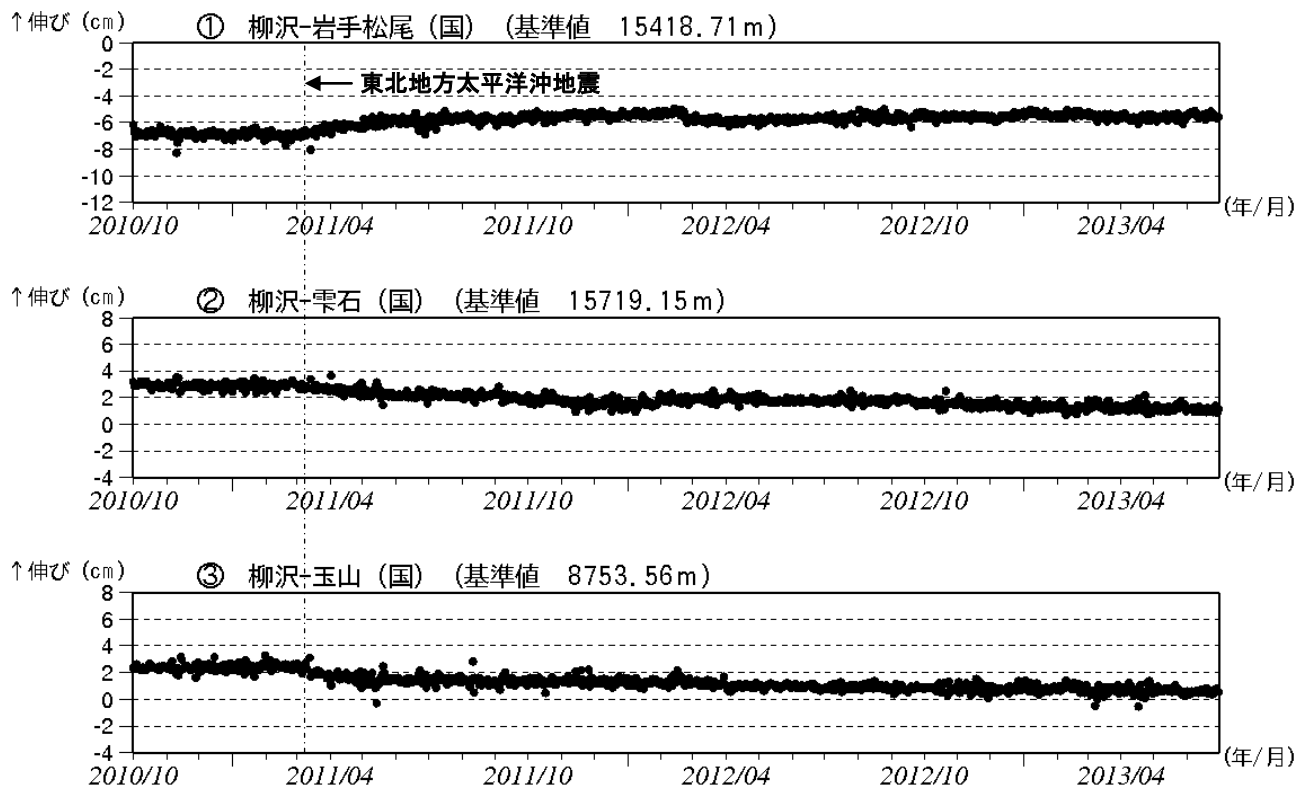


図8 岩手山 GPS 基線長変化図（2010年10月～2013年6月）

- ・2011年3月11日以降の変動は、東北地方太平洋沖地震による影響で、火山活動によるものではないと考えられます。
 - ・東北地方太平洋沖地震に伴うステップを補正しています。
 - ・①～③は図7のGPS基線①～③に対応しています。
- （国）：国土地理院

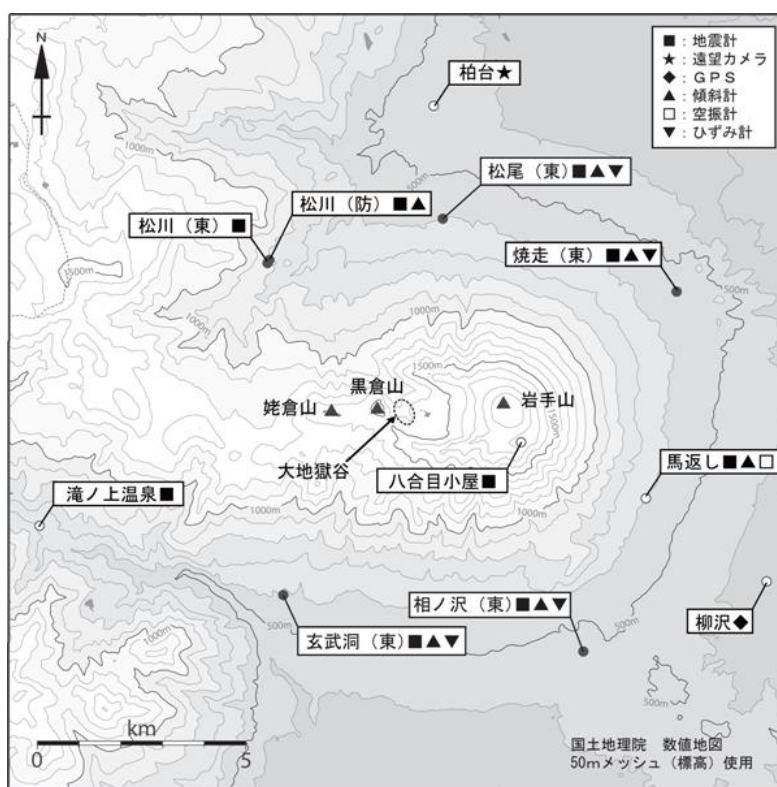


図9 岩手山 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（東）：東北大学 （防）：防災科学技術研究所